

# 議 事 録

会 議 名	令和5年第4回熱田警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和5年12月18日（月） 午後1時40分から午後3時20分までの間 ----- 熱田警察署 講堂
出 席 者	1 委員 今井 拡信会長                      村瀬 聡副会長 松岡 由花委員                      平賀 眞美子委員 水野 晶夫委員                      上野 健委員 池田 真由美委員 <p style="text-align: right;">以上7名（定数8名）</p> ----- 2 警察署員 竹下署長                              千田副署長                      小森警務課長 佐々木会計課長                      石川生活安全課長              東條地域課長 山田刑事課長                      丸子刑事課長代理              茶谷交通課長 鈴木警備課長 <p style="text-align: right;">以上10名</p> ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	令和6年における熱田警察署の活動に望むこと
答 申 等 の 概 要	1 自転車事故防止対策や幅広い世代への交通安全教室の開催等交通安全対策の推進 2 特殊詐欺被害防止のため、手口の周知、体験型の被害防止広報、被害防止機能付き電話機の普及等を引き続き実施
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（警務課長説明）
	(1) 諮問事項
	若手育成
	(2) 答申事項
	ア 実戦的な訓練を通じた現場執行能力の向上
	イ 若手個々の特性に応じた、きめ細やかな指導
	ウ 先輩からの声掛け等、サポートチームの先輩に相談しやすい環境づくり
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	令和5年6月に長野県において猟銃等で複数の警察官が殺傷される事件が発生しており、警察官の負傷を防ぐための訓練を主に、交番襲撃訓練、ブラインド方式の事案対応訓練、受傷事故防止訓練、熱田消防署との合同災害訓練等の実技訓練や集合教養を実施した。
	イ 答申事項イについて
	(ア) 若手警察官の特性の把握
	若手警察官の考え方や特徴を把握するために、若手警察官及び2人以上の若手警察官を担当した経験を持つ指導員を対象にアンケートを実施した。
	(イ) 部外講師による教養の実施
	警察署の幹部を集め、管内にある専門学校の教諭から講義を受けた。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
主に高校卒業程度試験の受験生を日々指導している教諭から見た、	
若者の変化について話を聞くことで、今後警察官に採用されるであろう年代の特徴や効果的な指導方法を知ることを目的とした。	
(ウ) 警察署見学会への対応	
管内小学校児童の警察署見学会に、若手警察官を対応させた。	
児童にパトカーなどの説明を行い、質問に答えることで県民とのコミュニケーション能力の向上を図った。	
(I) 待機寮生との懇談会の実施	
待機寮の生活指導担当者である警務課長が寮生との懇談会を開催し、	
将来の希望部署、警察官としての規律を守る必要性等の話から、趣味や困りごと等の勤務とは離れた話題が生まれ、幹部及び寮生同士のつながりを深めることができた。	
ウ 答申事項ウについて	
地域課以外の課へのリクルートを目的としたサポートチーム員との顔合わせの場を作り、先輩が若手警察官に対して自分の課、係はどんな仕事をしているのか等、若手が興味を持つような話をし、先輩が積極的に若手育成に関わっていくように取り組んだ。	
また、サポートチームの積極的な活用についても指導した。	
4 諮問	
(1) 諮問事項	
令和6年における熱田警察署の活動に望むこと	
(2) 諮問事項の設定理由(警務課長説明)	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ア	令和5年、熱田警察署は、
	・ 暴力団の壊滅
	・ 交通死亡事故の抑止 ～減少傾向の定着～
	・ 県民の身近で発生する犯罪への的確な対応
	を業務重点と定めて活動してきたが、交通事故件数及び犯罪発生件数は前年同時期と比較して増加している。
イ	管内の令和5年中（11月末現在）の交通事故発生状況（交通課長説明）
ウ	管内の令和5年中（11月末現在）の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
エ	令和6年は交通事故及び犯罪発生を抑止を中心に、更なる対策と取組の強化が必要となる。
5	協議
委員	・ 幹線道路沿いの交番には、常に警察官か相談員がいるようにしてもらえると安心できる。
	・ 特殊詐欺の電話は、最近は固定電話だけでなく携帯電話にも架かってきたり、メール等のメッセージが届くようになっているから、そうしたことにも注意するよう広報してもらいたい。
委員	・ 特殊詐欺と疑われる電話があった場合、警察に通報すれば、「だまされた振り作戦」という検挙に向けた活動があることを周知させることが大切である。
委員	・ 熱田区は、名古屋市の中でも高齢者の割合が高いことから、高齢者に対する交通安全対策が必要ではないか。
委員	・ 公共交通機関や徒歩での移動の際、自転車の危険運転が多いと感じ
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<p>じる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室の効果は絶大であると思うので、幅広い世代に向けて開催してもらいたい。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に対する、特殊詐欺の模擬体験を実施していると聞いたが、そのような活動は非常に効果的であり、引き続き積極的に行ってもらいたい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱田警察署が実施した特殊詐欺被害防止のためのキャンペーンやイベント等の取組、特殊詐欺犯人の逮捕等がテレビ、新聞等で取り上げられた場合は、そのことを広く区民に周知してもらいたい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊詐欺犯罪に若い人たちが関わっていると聞いたことがあるので、被害防止広報とともに、特殊詐欺犯罪に手を染めると人生を取り返すことができなくなるということも広報してもらいたい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊詐欺のメッセージ等があった場合、その内容を警察にメールで簡単に転送できる専用の窓口があれば、対応ができるのではないかと。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が利用しているデイサービスの施設で、体験型の特殊詐欺被害防止活動を行うことも効果的である。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルールは、小学生くらいまでは守っているが、中学生以上では守られていないようであるので、中学校での交通安全教室を行うことが効果的である。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民は、パトロールをしている警察官の姿やパトカー・白バイを見ると、緊張感と同時に安心感を感じるので、引き続き行っ</li> </ul>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
てほしい。	
委員	・ 会社等の終業時間帯に、事故率が高い交差点で集中して啓もう活動を行うことが、交通事故の抑制に効果があるのではないか。
	・ 子供より大人の方が、自転車利用時の交通法規を守っていないと感じるため、地道ではあるが大人への声かけ活動が、一番効果があると思う。
	・ パトカーが赤色灯を点灯して走行することにより、交通事故や交通違反の抑止力になると思う。
	・ 特殊詐欺の被害防止には、自治会、商業施設や金融機関等での地道な声かけと、地域の協力が必要である。
	・ 特殊詐欺被害防止機能付き電話機の普及は、継続的な訴えかけが必要である。
	・ 自転車盗の抑止力としては、防犯カメラの設置が有効であることから、自治体やマンションの管理会社等の協力が必要である。
	・ 自転車盗が多く発生していることを、回覧板等で地域の方に伝えることも重要である。
6	答申
	(1) 自転車事故防止対策や幅広い世代への交通安全教室の開催等交通安全対策の推進
	(2) 特殊詐欺被害防止のため、手口の周知、体験型の被害防止広報、被害防止機能付き電話機の普及等を引き続き実施
7	その他
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨

次回の開催予定は、令和6年2月頃とする。

記録者

警務係長